

令和5年度

専門学校 静岡工科自動車大学校

学校評価書（学校関係者評価）



専門学校 静岡工科自動車大学校 校長 古澤 浩一

静岡工科自動車大学校評価委員会 委員長 河田 憲一郎

(1) 教育理念・目標

評価項目	具体的取組	自己評価	課題と改善策	評価委員会の意見
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	経営理念、教育理念を定め、職員に周知徹底をしている。 教育の柱となる3つのポリシー(DP、CP、AP)を策定し、公開している。	4	特になし。	特になし
・学校における職業教育の特色は何か	自動車エンジニアとして基礎・基本である知識・技術を確実に身に付けるような教育を豊富な種類の教材と多様な学科構成により行っている。	4	自動車エンジニアとして「安心、安全」を意識した行動が身に付くように教育を徹底していく。	特になし
・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	中期構想として第10次中期経営計画(2022～2024年度)を策定し計画を推進している。	4	特になし。	特になし
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・父母等に周知されているか	3つのポリシー(DP, CP, AP)を策定し学生便覧に掲載している。 また学校情報をホームページ上で公開している。	4	特になし。	特になし
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	企業と連携した授業やインターンシップにより学生が直接業界ニーズを感じることができている。また育成人材像も毎年見直しを行い、業界ニーズに合致させている。	3	特になし。	特になし

* 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA. 当てはまらない

今後に向けての学校の考え

・常に業界のニーズに対応できるよう、企業と連携した授業展開や情報交換を積極的に実施し、より良い授業カリキュラムを構築していきます。

(2) 学校運営

評価項目	具体的取組	自己評価	学校改善案	評価委員会の意見
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	毎年度、目標と方針を策定し、職員全員に周知するとともに、各課においても目標と方針に沿った具体的な目標を定め、活動している。また、取り組み状況や環境に応じ柔軟に修正している。	4	自動車業界の環境が大きく変化しており、その影響が学校運営にも及んでいる。経営環境の変化に柔軟に対応できるよう情報収集、問題の共有化を推進したい。	特になし
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	中期経営計画達成のため、毎年度の事業計画及び予算計画を策定している。事業計画は令和5年度についても計画どおり執行した。	4	特になし	特になし
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか 有効に機能しているか	毎年運営組織・分掌を明示した組織図を作成し、職員に周知するとともに、意思決定機能も明確にしている。報告が遅れるなどの不具合が発生したが報告方法等の再教育を行い修正できている。	3	メンバーによる報連相の乱れに対し、都度修正している。	特になし
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	服務規程により人事、給与については整備されている。また、労務管理について再確認し、より良い職場環境になるように見直しを行っている。	3	人事評価システムの改定は概ね良い方向に機能している。「働き方」の意識改革が必要になるため様々な取り組みを行う計画である。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の各科・学年の実習授業を企業が担当することとなったようであるが、具体的に学校側職員は年間を通じて何人程度時間に余裕が出るのか。 ・学校は有給休暇を取りやすい環境にあるか。 ・一般企業では男性の育休休暇取得がみられるが、工科では男性職員の育休休暇の取得状況はどうでしょうか。

・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	組織整備については教務課、入試・進路課、総務課の幹部職員により協議、調整を図り、決定している。	4	常に話し合い意思統一を行っている。	特になし
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	法令順守については個人情報管理等の規程を制定し運用している。 また、教職員業務対応手順を作成し、苦情等対応も含めた体制を整備している。	3	運用面において職員の意識やモラルに問題が見られるケースがあるため面談等により修正を掛けている。	特になし
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	文部科学省の情報公開ガイドラインに沿った学校情報をホームページ上に公開している。その他 SNS なども活用し、ほぼ毎日教育活動を発信している。	4	特になし	特になし
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	教務、募集、経理、勤務等を統括したシステムを運用しており、業務の効率化が図られている。また Google Workspace を活用した教育システムが機能しつつある。	4	情報システムのトラブルに対応できる職員が少ないため、対応できる職員の育成を行っていく。	特になし

* 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA. 当てはまらない

今後に向けての学校の考え

- ・令和6年度の各科・学年の実習授業を企業様が担当することにより、年間を通じて2～3名程度時間に余裕が出るため、職員の不測の事態でも対応ができる体制になります。
- ・実習授業を外部企業様が担当することで、現場の技術を教えていただける良い機会であると思います。将来的には整備技術は外部企業様の方に教えていただき、工科職員は資格取得を主とした基本的な教育を行うことができればより良い学校となると考えています。今後も授業を担当していただける企業数を増やしていきたいと考えています。
- ・今後の職員採用については中途採用ではなく、新卒採用を積極的に考えています。具体的には静岡工科在籍中の学生の中から教員としての資質がある学生を採用するため企業奨学制度を利用し職員確保をしていくことを計画しています。

(3) 教育活動

評価項目	具体的取組	自己評価	学校改善案	評価委員会の意見
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	教育課程の編成については、「教育課程編成に関する規程」を定め、教育課程を編成及び実施している。	4	定期的に見直しを行っており、特に問題はないと感じている。	特になし
・教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	教育到達レベルと学習時間をシラバスに明記し HP 上でも公開している。現在の学習時間は国土交通省が定める基準並みとしてあるため、限られた時間の中で最大限の効果が得られるよう活動を行っている。	4	令和7年度より、自動車整備士養成課程が改定される。教育時間数の削減が決定しており、より効果的な教育計画を立てることが必要となる。	特になし
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	各学科の目標達成に向けカリキュラムが構成されている。国土交通省が定める指定基準に沿って、学期末ごとに全職員で見直しを行い、業界との格差が発生しないようにしている。	3	令和3年度に変更した国際オートメカニック科、及び、システム工学科3～4年のカリキュラムが運用を開始した。教材、教場、教員など、割り当てが十分でない点が多く見付き、今後も継続した改善が求められる。	・財務会計授業において戦略マネジメントゲームを取り入れることをお勧めします。 戦略マネジメントゲームはアクティブラーニングを用いて授業展開できると思います。 現状教科書のみで授業を進めているようですが、理解が浅い学生がいるようですのでぜひ取り入れていただきたいと思います。
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	教務目標に社会人として必要な人間性(社会人基礎力)を身に付けることを目標としており、担任を中心に指導を実施している。学校関係者評価委員会の外部委員からの意見についても可能な限り導入している。	3	JAMCA より、コンプライアンス教育を目的としたテキストが公開された。次年度よりこのテキストを道標とし、コンプライアンス教育に力を入れることが求められる。	特になし

・関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	企業及び業界団体から委員を迎えカリキュラム編成委員会を開催している(5月、8月の2回)その中で、シラバスの見直しを行った。	4	今後も定期的に見直しを行い、企業ニーズに合った教育になるよう改善している。カリキュラム編成委員会からのご意見を取り入れ、大幅な整備作業アンケートの見直しを実施した。	特になし
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	すべての科においてインターンシップを実施している。また、企業と連携し1年生に対しては自動車点検実習、2年生に対しては、大型自動車実習を実施しておりシラバスにも明記している。	4	企業側も学校教育に協力的であり、特に問題はないと感じている。	特になし
・授業評価の実施・評価体制はあるか	授業評価は年2回実施しており、各期末に全体の評価結果を公開している。また、評価の低い授業担当者には教務課長が個人面談を実施し授業のアドバイスをを行うことで改善を図っている。	4	アンケート結果の目標を76%以上とし、個人の目標に結び付け評価している。A 評価1.2学期平均で80.65%(R4 年度1.2学期平均79.37%)と昨年度よりも上昇した。全対面授業の解禁が大きな要因と考えられる。今後も学生に支持されるような教育活動を継続したい。	特になし
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	学校関係者評価委員会により評価を行っている。	4	学校関係者評価委員会にて評価をいただいているので、特に課題を感じない。	特になし
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	成績評価基準は学校側の主導により明確に定められており、学生には学生便覧(教務規定掲載)を全員に配布し周知徹底している。	3	基準は学生便覧(教務規定掲載)に明記されており、特に問題はないと感じているが、その運用において一部問題が発生した。再発防止策が必要と考えられる。	特になし

<p>・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</p>	<p>整備士資格以外はカリキュラム上には定められていないが、放課後等を利用し、資格取得のサポートをしている。必須資格と選択資格に分け学生の能力・ニーズにより選択できる体制をとっている。</p>	<p>4</p>	<p>コロナ禍も収まり、以前のように資格試験を受験することができるようになった。コロナ禍で獲得した IT ツールを現在でもうまく活用しながら効率良く教育を進めている。</p>	<p>特になし</p>
<p>・人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか</p>	<p>第一種養成施設の指定基準に準拠するため必要があるため資格や経験年数及び学歴等を満たした教員を採用している。</p>	<p>3</p>	<p>一級自動車整備士を取得している職員の割合は高水準であるが、専門学校教員としてのキャリアが短い職員が増えている。将来に渡り高いレベルの教育を安定して提供するためには、定着率を高めるような対応策が必要だと考えられる。</p>	<p>特になし</p>
<p>・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか</p>	<p>自動車整備業界からだけでなく、自動車製造業からの職員を採用することができ、より実践的な教育を提供する組織とすることができた。</p>	<p>4</p>	<p>令和5年度は、企業から1名の職員を派遣していただいた。令和6年度からは、一部の科目を企業に担当してもらうことで、これ以上ない優れた教員を確保する機会を得ることができた。</p>	<p>特になし</p>
<p>・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取組が行われているか</p>	<p>自動車整備振興会による新技術研修は毎年全教員が受講している。また、今年度も年間を通して指導力向上研修を計画し実践した。</p>	<p>3</p>	<p>7月に、外部講師を招き、最新の技術についての研修を受講した。研修で得た知識や技術を授業内で学生に伝えている。ASV 車両やエーミング作業のツールも充実してきており、ASV 車の整備にも対応できる環境を整えている。ただし、外部診断機の数不足しており、数を増やすことが今後の課題と思われる。</p>	<p>・外部診断器の目標保有台数はどの程度を計画していますか。</p> <p>・診断器の補助金については正式な告知は出ていません。夏以降に補助金の告知が出るのではないかと思います。</p> <p>・診断器の更新を管理する体制をとることをお勧めします。</p>

<p>・職員の能力開発のための研修等が行われているか</p>	<p>職員に対し職務要件に応じた本部研修を実施している。その他の研修は個人で希望すれば研修に参加させている。</p>	<p>3</p>	<p>令和3年度に定められた研修制度がいったん休止となり、また、研修の精査により開催される研修が限定的となった。外部研修は希望者のみが受講する形となり、研修制度としてはやや後退した感があるが、今後も多くの希望者が出ることに期待したい。</p>	<p>特になし</p>
--------------------------------	--	----------	---	-------------

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA. 当てはまらない

今後に向けての学校の考え

・外部診断器の目標保有台数はどの程度を計画していますか。今後20～30の保有台数を目標としています。

近年の自動車整備において外部診断器を利用した作業は不可欠になり、1、2年生でも外部診断器を利用した授業を充実させ、高度な技術者の育成を行っていきます。

・ゲーム感覚で戦略マネジメントゲームを体験したのち会計知識を勉強することは学生にとって有効であると感じる。今後の授業カリキュラムに導入できるか検討を行います。

(4) 学修成果

評価項目	具体的取組	自己評価	学校改善案	評価委員会の意見
・就職率の向上が図られているか	無料職業紹介所の届け出を行い、求職票を提出した学生を対象に就職斡旋を行っている。各企業のガイダンスは例年通り実施しており、面接指導や書類作成に関する指導は担当がきめ細かく行い、就職率の向上を図っている。	4	一部の企業に応募が偏る傾向が見られる。採用担当者の人柄やガイダンスの内容といった一時的な要素に左右されることが大きいと感じる。学校としては客観的な企業の情報を発信することで、多数の企業に興味を持ってもらえるよう指導している。	特になし
・資格取得率の向上が図られているか	コロナ禍でリモート中心に資格試験対策を昨年度まで実施していたが本年度は全面的に対面での資格対策を実施できた。本年度は例年と比べ合格率を高めることができた。	3	学生の資質を見極めながら、成果の上がる学習方法を常に検討し、合格率の向上を目指す。	特になし
・退学率の低減が図られているか	年度初めに退学者の目標値を定め、各月の職員会議で状況を示し、組織的、計画的に退学者の減少に努めた。また、進路相談や普段の生活面での相談ができるよう外部カウンセリングを行う窓口を設置した。	3	カウンセリングの窓口の開設を学生に案内したが、利用状況件数が少ないため、今後はカウンセラーの先生に予約がない時間帯は、ランダムに授業状況を見学していただき学生に対する指導において改善策等を提案していただく。	・令和5年度の退学率目標値と実績値を教えてください。
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	企業との情報交換により把握するよう努めている。卒業生が技能コンクールの全国大会で活躍した情報を収集している。	3	今年度は企業との交流の機会が少しずつ増え、入手できる情報が増加した。本年度は各企業内で技術大会なども行われ卒業生の活躍を見学することができた。ガイダンスの機会に採用担当者へ確認すると、留学生の活躍についての話が増えてきた。	特になし

<p>・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか</p>	<p>企業の採用担当者や企業実習の担当者等に対して、学生時代に学ばせたい事を聞いてみると、知識や技術の習得以外に、人と人とのコミュニケーションを選択する方が多い。一方、本校の卒業生はコミュニケーションについては概ね良い返答をいただいている。</p>	<p>3</p>	<p>学生に対しては、自動車整備業や自動車製造業はすべてお客様あつての業種であることを理解してもらい、適正なお客様対応ができる接客授業を行い育成していく。</p>	<p>特になし</p>
---	--	----------	---	-------------

* 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA. 当てはまらない

今後に向けての学校の考え

・令和5年度の退学率目標値は3%、実績値は7%でした。

退学率を低減する目的で、昨年度の8月以降に専門カウンセラーの窓口を月2回のペースで開設しましたが、現状ではあまり利用されていません。

今年度は、例年5月連休明けより進路に悩む学生が多くなるため対応策として月3回の窓口を8月まで設け、学生が気軽に相談できるようカウンセラー職員が各クラスを巡回し気軽に話せる環境を整えてきたいと思います。

・実績値の7%の中には、4年課程の学生が専攻科へ進路変更した場合や就職に切り替えた場合の退学数も含まれています。特に専攻科へ進路変更した場合、退学はしていますが実際は学校に在籍していることとなります。進路変更の適切な時期等についても検討していきたいと思います。

(5) 学生支援

評価項目	具体的取組	自己評価	学校改善案	評価委員会の意見
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	<p>本校では無料職業紹介所を開設し、職業指導の基本方針、対策、情報収集、求人開拓のための企業訪問等を積極的に展開し多数の求人獲得に努力している。</p> <p>導入から7年目となった電子求人システムへの完全移行も順調に進めることができた。</p>	4	企業により求人システムへの入力、利用法などシステムの理解度に差があるが、問い合わせに対し柔軟に対応できている。	特になし
・学生相談に関する体制は整備されているか	<p>学生からの相談(ハラスメント等を含む)は、主にクラス担任が対応し、それを主任がカバーする。また、女性教員や保健室、奨学金・保険担当室や入試・進路課など気軽に相談できる窓口も用意され学生の相談体制も整っている。</p>	4	<p>学生が相談できる仕組みは整っている。次の課題は様々な相談に対応できる職員を増やすことである。相談できるスキルアップだけでなく、相談しやすいと感じさせることができる職員になる必要があるため各種研修の参加や職場内研修などで対応している。</p>	<p>・令和6年度は各職員の学生指導への負担軽減を図るため担任制を廃止し、科・学年全体で学生指導することとしました。</p> <p>・各職員の責任も分担されるため良い制度であると思います。</p>
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	<p>高等教育修学支援制度による入学金、授業料の減免や免除、下宿生への支援金供与、日本学生支援機構等の奨学金制度、本校独自の企業奨学・推薦制度等、学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しており専門学校評価基準を十分に満たしている。</p>	4	<p>各種減免により経済的負担は軽減される傾向にある。さらに、その各種減免と併用できる企業奨学金の利用により多くの学生が経済的負担の軽減を実感していると感じる。しかし、家庭により経済状況が異なるため、きめ細かい対応が必要になっている。</p>	特になし
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	<p>常勤の看護師の対応により学生の健康管理は適切に実施されている。学生の登校状況、保健室の利用(傷病の申し出)状況、薬の使用状況は毎日管理され、心の健康(メンタル相談)にも配慮している。</p>	3	<p>看護師が勤務していない時間においての対応に課題があるが、総務課と担任(担当)が対応し看護師の不在時間をカバーしている。</p>	特になし

・課外活動に対する支援体制は整備されているか	クラブ活動などの課外活動は授業時間数が多い中でも支援できていると判断している。顧問である職員の負担は大きい、大きな不満を持つことなく積極的な活動、支援を行っている。	3	クラブ支援に対する職員の関わり合いについて、担当者や時間、待遇など検討を要る	特になし
・学生の生活環境への支援は行われているか	1人暮らしの補助により下宿生には1万円/月の支援金を供与している。(留学生を除く)	4	1人暮らしの補助、通学費支援により募集活動に効果を発揮している。本年度募集から在学中の支援となる交通費支援ではなく、父母等が期待する入学前の支援となる入学金減免(半額)に変更した。	特になし
・父母等と適切に連携しているか	例年、後援会総会後に担任と父母等との個別面談を実施している。また、電話連絡等により父母等に学生状況の報告を行い、相互理解に努めている。	4	実現可能な範囲において十分な連携が図られており、特に課題を感じていない。	特になし
・卒業生への支援体制はあるか	卒業後の状況についてはインターンシップの訪問に絡めて確認し、フォローアップに努めている。特に整備士資格の未取得者には資格取得の支援を強力に行っている。	4	卒業後、数年経った離職者に対する就職支援も行っている。少数ではあるが再就職に結びついている。	特になし
・社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	企業ニーズの聞き取りを行い、それをカリキュラムに反映させている。職業実践専門課程として企業に授業を実施していただき企業ニーズを直接学生に伝える場も用意している。	4	業界関係者が気軽に企業ニーズを発することができる体制(HP等)を入試・進路課を中心に整えたい。	特になし
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	高校に出向いて、自動車整備士の仕事や整備業界の紹介や自動車整備の模擬授業を展開している。また、「進路講話」「専門学校とは」「面接指導」などの各種指導を担当し高等学校のキャリア教育に積極的に参画している。	4	各種の講義、講話の内容を継続的に改善し、さらに効果と魅力がある内容にしたい。変更なし	特になし

* 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA. 当てはまらない

今後に向けての学校の考え

・課外活動に対する支援についてはクラブ支援に対する職員の関わりを職員中心ではなく、学生主体にしていくことを目標に動き出しています。また、令和6年度より各職員の学生指導への負担軽減を図るため担任制を廃止し、科・学年全体で学生指導したいと思います。

(6) 教育環境

評価項目	具体的取組	自己評価	学校改善案	評価委員会の意見
・施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	第一種養成施設の指定基準を満たし有効に活用していると判断する。教育用機器・教材に関しては中期経営計画に沿って年度毎計画的に購入している。今年度は塗装乾燥ブース、エンジクレーン、外部診断器等を設置した。	3	施設・設備の規模や整備内容は充実しているが、経年劣化のため修繕を要する場所が次々に現れ、その対応に時間と費用がかかっている。	特になし
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修について十分な教育体制を整備しているか	教育課程表に定められたインターンシップは実施した。海外研修については、今年度実施していない。	3	企業内定者については、全員が企業インターンシップに参加できるよう計画したい。	特になし
・防災に対する体制は整備されているか	令和5年に災害対策対応マニュアルを改訂した。緊急時の教職員及び学生への連絡、安否確認体制についてグーグルを利用し確立した。安否確認等訓練を複数回実施、習熟度を高めた。	4	学生の安否確認に使用しているグーグルフォームの取り扱いについて、一部の職員に不慣れな場合が見られ、習熟が必要である。	特になし

* 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA. 当てはまらない

今後に向けての学校の考え

- ・校舎の老朽化に伴い屋根や床などの修繕が必要であると考えています。
- ・防災に対する体制の整備については、近年各地域で地震が多発していることから災害マニュアルの更新を毎年実施すると共に、職員・学生への安否確認グーグルフォームを使用して確実に出来るように訓練していきたいと考えています。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	具体的取組	自己評価	学校改善案	評価委員会の意見
・学生募集活動は、適正に行われているか	EV シフトされる業界を伝え、今後必要となる一級整備士へのシフトが完成した。また、利用者数が安定している企業推薦制度もニーズに合わせた企業への提案も行っている。また、中学生への働き掛けも継続している。	3	整備士希望者拡大に向けた広報活動と新設される浜松工科自動車大学校の募集をバランスよく行う必要がある。エリア特性を理解し、両校を定員充足するための様々な活動を計画どおり展開したい。	・広報のツールとしてレース参戦を活用しており学生へのアピールになっていることからこの活動は良いことだと思います。 ・YOU TUBE を利用しレース参戦の情報を拡散してもよいのではないかと思います。 ・静岡工科の強みとして自動車教習所が併設されているところであると思いますので、教習所とのタイアップを高校生にアピールしてほしいと思います。
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	資格取得状況や就職状況は志願者が専門学校を選択する上で、大変重要な判断材料になる。静岡県を中心とした学生募集活動において数値化した実績公表で教育活動の信頼性を高めるとともに、志願者や各高等学校への職員による説明やホームページ上で情報を公開している。	4	ホームページの「活動紹介」を利用し教育活動を分かりやすく伝えている。本校の各種情報も継続的に発信したい。	特になし
・学納金は妥当なものとなっているか	教育内容や他校の状況等を勘案して学納金額の見直しを行っている	4	入学金、授業料、各種諸費用について見直しを行い学納金を改定済み。	特になし

* 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA. 当てはまらない

今後に向けての学校の考え

・浜松エリアでは浜松工科を希望している学生の第二候補が中日本短大であることから、第二候補を静岡工科に変更してもらうことで学生確保ができるのではないかと考え現在募集活動を行っています。また、静岡工科の特色としてVITAレースをメインとしてレース参戦を募集活動のツールとしてインスタを積極的に利用していきます。

(8) 財務

評価項目	具体的取組	自己評価	学校改善案	評価委員会の意見
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	近年施設老朽化に伴う修繕費等が増加基調にあるが経費削減等に取り組み帰属収入の確保に努めている。	3	中長期的には引き続き経費節減。	特になし
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3ヵ年毎の中期経営計画に基づき年度の事業計画が作成されている。予算は事業計画による業務目標を達成させるべく適正に決められ、その執行は有効性と妥当性を考慮して厳正に行われている。	4	キャッシュフローを把握し、事業活動収支差額への影響を十分に吟味した上で、必要な事業には投資できるよう管理している。	特になし
・財務について会計監査が適正に行われているか	公認会計士により毎年「当年度事務処理状況調査及び財務諸表各項目」について適正に監査が行われている。	4	適正に行われている。	特になし
・財務情報公開の体制整備はできているか	私立学校法に基づき制定された「情報公開に関する内規」により財務情報公開の体制は整えられている。	4	公開用財務諸表を金庫内に備付け、ステークホルダーに対する公開体制は整備できている。	特になし

* 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA. 当てはまらない

今後に向けての学校の考え

・近年施設老朽化に伴う修繕費等が増加基調にあるが経費削減等に取り組み帰属収入の確保に努めていきたいと思えます。

(9) 法令等の遵守

評価項目	具体的取組	自己評価	学校改善案	評価委員会の意見
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	法令、設置基準や監督官庁の許認可、届出等定められていることが適正に遵守されている。 年1回、法人本部による業務監査及び監事による業務監査を行い、改善・指摘事項については改善策を講じ対応している。	4	特になし。	特になし
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	個人情報保護規程を定め、個人情報が漏洩しないようにしている。また業務委託業者とは機密保持契約を締結している。また、年1回、個人情報保護監査責任者による内部監査を実施している。	4	特になし。	特になし
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	自己点検・評価は、毎年見直しを行い、年度末には所属長による改善指示をしており、学校関係者評価による検証も行っている。	4	特になし。	特になし
・自己評価結果を公開しているか	自己点検・評価の公開についてはホームページ等で公開している。	4	特になし。	特になし

* 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA. 当てはまらない

今後に向けての学校の考え

・個人情報に関して、職員のサーバーへのアクセス権を考えていきたいと思ます。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	具体的取組	自己評価	学校改善案	評価委員会の意見
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	中学生整備体験、出張授業など少しずつ実施することができた。 環境問題への取り組みとして、エコアクション21の認証を取得し継続的かつ積極的な活動に取り組んでいる。	4	社会人講座は地域貢献・社会貢献の一環として社会ニーズを捉え積極的に取り組んでいきたい。	特になし
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	能登地震被災への義援金募集活動を実施した。また、学生自治活動主催で通学路清掃や交通立哨、などを行っている。	4	コロナによる行動制限が解除され、状況に応じたボランティア活動ができる様を検討し実施したい。	特になし
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	二級自動車シャシ整備技術講習を実施した。	4	依頼があった講習・講座のみ実施した。これ以上増やすことは本来の教育業務に支障が出る恐れがあるので、次年度も今年と同じ実施要領とする。	特になし

* 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA. 当てはまらない

今後に向けての学校の考え

・学生の地域ボランティア活動を定期的実施していきます。

令和6年度は宮前地区の清掃活動を積極的に行い、地域住民の信頼と学校がこの地区に存在してよかったと認めていただけるよう、地域住民との絆を強めていきます。また、地域住民の方々に留学生への理解をしていただきたいことを目的として、この奉仕活動に留学生を参加させていきたいと考えています。

(1 1) 国際交流

評価項目	具体的取組	自己評価	学校改善案	評価委員会の意見
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	業界の慢性的な整備士不足に対応するため、令和6年度より入学生定員を60人に増員して受け入れ拡大を実施していく。	4	・学費や生活費をアルバイトで稼ぎ通学している留学生が多く、昨年度に引き続きアルバイトが激減したため授業料の支払いに苦勞する学生が多く見られた。留学生も対象となる奨学金制度の開拓が必要である。 ・コロナによる留学生の入国規制が緩和されたため、日本語学校に留学生が増加し始めている。	特になし
・留学生の受入れ・派遣・在籍管理等において適切な手続きがとられているか	留学生の在籍管理等は適切に行われており、本年度も名古屋入国管理局から「在籍管理が適切に行われている専修学校専門課程」として適正校認定された。	4	ビザの更新、就労ビザへの変更許可や休退学があった場合の届け出などに学校として積極的に関わり、きちんと在籍管理を行った。	特になし
・留学生の学修・生活指導について学内に適切な体制が整備されているか	学校組織図に留学生担当生活指導担当を明記し、学修・生活指導の体制を整えている。日常のことはクラス担任が対応し、必要に応じて科のリーダーや教務課長が対応する。	3	課税証明書の確認を行うことで入管法施行規則に定められた週当たり28時間のアルバイト時間を守らせるよう工夫している。	特になし
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	自動車整備系学科では卒業時に整備士の国家試験を受験している。 産能大、放送大とのダブルスクールを取り入れている。	3	1級試験合格率の向上が続いている。産能大は少数ではあるが順調に卒業者が出ている。また放送大学の在校生も増えた。	特になし

* 4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA. 当てはまらない

今後に向けての学校の考え

・今後は留学生の入学生は減少していく傾向にあることから、留学生を安定的に確保する対策として留学生に企業奨学制度を適応することと、留学生用の寮を確保していくことを考えています。